



2026 年 10 月 9 日

各 位

会社名 古野電気株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員 兼 CEO 古野 幸男
コード番号 6814（東証プライム）
問合せ先 取締役常務執行役員 兼 CFO 和田 豊
(TEL 0798-63-1017)

連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2026 年 4 月 9 日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

なお、当社は 2026 年 10 月 9 日開催の取締役会において、下記のとおり 2026 年 8 月 31 日を基準日とする剰余金の配当について、下記のとおり決議しました。これに伴い、中間配当を増額するとともに、2027 年 2 月期の期末配当予想についても修正いたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

（1）2027 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（2026 年 3 月 1 日～2027 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 148,500	百万円 17,000	百万円 17,000	百万円 13,000	円 銭 411.28
今回発表予想（B）	158,000	21,000	22,000	17,000	537.80
増減額（B-A）	9,500	4,000	5,000	4,000	-
増減率（%）	6.4	23.5	29.4	30.8	-
（ご参考）前期実績 （2026 年 2 月期通期）	140,616	16,246	18,291	16,735	529.53

（2）修正の理由

2027 年 2 月期第 2 四半期（中間期）の業績は、前回予想を上回る結果となりました。今後の事業環境につきましては、部品価格の上昇による収益への影響が見込まれるものの、主力の船用事業において堅調な市場環境を背景に販売が想定を上回って推移しており、通期業績は期初予想を上回る見通しです。

この結果、部品価格上昇の影響を織り込みながらも、売上高および各利益項目が前回予想を上回る見込みとなったことから、通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、通期業績予想の前提となる為替レートにつきましては、米ドル 159 円（前回公表 153 円）、ユーロ 184 円（前回公表 183 円）へ変更いたします。

2. 剰余金の配当および期末配当予想の修正について

(1) 中間配当の内容

	決定額 (2027 年 2 月期中間)	直近の配当予想 (2026 年 4 月 9 日)	前期実績 (2026 年 2 月期中間)
基準日	2026 年 8 月 31 日	同左	2025 年 8 月 31 日
1 株当たり配当金	115 円 00 銭	80 円 00 銭	75 円 00 銭
配当金総額	3,635 百万円	—	2,370 百万円
効力発生日	2026 年 11 月 10 日	—	2025 年 11 月 11 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (2026 年 4 月 9 日発表)	円 銭 80.00	円 銭 80.00	円 銭 160.00
今回修正予想	—	95.00	210.00
当期実績 (決定額)	115.00	—	—
前期実績 (2026 年 2 月期)	75.00	85.00	160.00

(3) 修正の理由

当社は、利益配分につきまして中期経営計画（2027 年 2 月期～2029 年 2 月期）で、総還元性向 40%相当を安定的に実現できる経営基盤の構築を目標に掲げております。

この目標のもと、当中間期の業績、通期業績予想、財政状況等を総合的に勘案し、中間配当につきましては直近の配当予想から 1 株当たり 35 円増配し 115 円とすることを決議いたしました。

また、期末配当につきましても前述の通期連結業績予想数値の修正理由に記載したとおり、売上高、各利益項目ともに前回予想を上回る見込みであることから、直近の予想から 15 円増配し 95 円に修正いたします。これにより 1 株当たりの年間配当金は、中間配当金 115 円と合わせ 210 円となります。

(注) 上記の予想は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以 上